

立会川緑道サクラ再生実行計画 第三回検討会ニュースレター

目黒区内の公園・緑道・道路緑地等には約 2,300 本の桜がありますが、老齢化などにより、保全・更新の取り組みが必要となっていることから、目黒区では平成 27 年度から目黒のサクラ保全事業を行っています。

ご参加いただきありがとうございました。

今年度は立会川緑道のサクラ再生実行計画検討会を 3 回開催し、多くの貴重なご意見をいただきました。多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。

検討会の内容

- 第一回 8月30日 桜並木の現状とこれからについて
- 第二回 10月26日 桜景観の将来像について
- 第三回 12月5日 桜景観の将来像と実現に向けた取り組み

目黒のサクラ保全事業の流れ

樹木診断

樹木医による樹木診断を行い、現状の桜をとりまく問題点等を確認します。

再生計画作成

【今回検討会】桜並木の将来像を検討、将来像実現に向けた今後の取り組み方を考えます。

保全・更新

危険木の更新(伐採・植替え)を行いながら、再生計画を基に保全を行います。

桜並木の現状と課題

樹木診断結果(77本)

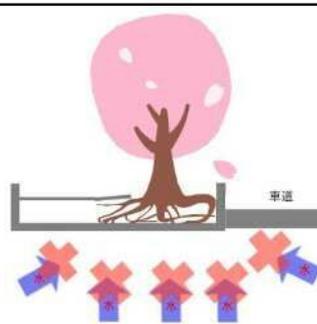


樹勢が弱り樹形が崩れた桜



樹木を腐らせるきのこの発生

- ・樹勢が低下しており、何らかの措置が必要な桜は 27 本ある (35.1%) (内 15 本は伐採済み)
- ・植栽基盤の不足 (土壌が少なく乾燥しやすい)
- ・桜の老齢化
- ・腐朽菌による材の腐朽・空洞の発生
- ・危険木の植え替えが必要



立会川緑道は立会川にコンクリートの蓋をし、その上に盛土をして造られた人工地盤 (ビルの屋上緑化と同じ地盤で、大きな植木鉢のような構造) です。このため、土壌が固まり易く、乾燥し易い土壌となっています。また根の生育範囲も狭い状況といえます。

桜並木の再生方針

- ・現在のソメイヨシノをできる限り保全する。
- ・倒木の危険が生じた桜は、安全確保のため伐採・抜根を行う。
- ・新植を行う場合は、桜並木の現状と課題を踏まえ、新たに植栽する桜の長寿命化を念頭に、立会川緑道の環境に適した品種・間隔で植替える。

検討内容は裏面へ

《目黒のサクラ基金》

ふるさと目黒のサクラのある風景を後世に伝える目黒のサクラ基金にご協力をお願いいたします。サクラ基金は、ふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページや、ふるさとチョイスホームページをご覧ください。みどり公園課までお問合せください。(目黒区 HP) <http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>



(ふるさとチョイス HP)

サクラ再生計画の検討

第二回検討会までのご意見を踏まえ、次のようなエリアに分けて提案しました。



向原小学校前の一部
【特色のある品種により再生】



特色のある品種：カワヅザクラなど
カワヅザクラは東京では3月上旬ごろ
開花。ソメイヨシノよりもやや小型



再生へ向けて必要となる対応策

土壌基盤の対策

- ・植栽柵を樹冠投影範囲内のできる限り広げる。
- ・植栽柵内の土壌を改良する。土壌をほぐし、保水性改良材を混合する。
- ・施肥をする。

保安全管理対策

日常的な維持管理やサクラ基金による保全・更新に加え、住民の方々と協働で「桜守活動」を行い、サクラ再生実行計画に取り組む。

○桜守活動

桜守活動とは、地域の方で地域の桜を守るボランティア活動のことで、全国各地で行われています。桜並木を保全していくためには、区民の皆様の参加が大きな力になると考えています。立会川緑道の桜を将来に伝えていくため、目黒区でも今後、桜守を募集し、清掃活動や桜の継続的な観察、保全活動などを行っていきたいと考えています。

向原小学校前～西端までの直線全域 **案その1**
【ソメイヨシノの風情を残し小型の品種により再生】



小型の品種：コシノヒガン
花の色がソメイヨシノに似た淡紅色の一重咲
ソメイヨシノの6～7割程度の大きさで
ソメイヨシノよりもやや早く開花

向原小学校前～西端までの直線全域 **案その2**
これまでと同様ソメイヨシノで植え替える場合...
根の生長範囲などを確保するため本数を約6割に減らし、
並木としての連続性を維持するため、約3本に1本は小型の
コシノヒガンを混ぜる。

検討会での主なご意見

- ・ソメイヨシノが立会川緑道に適していないのであれば、一斉に咲いて一斉に散っていく桜のイメージと合うため、コシノヒガンで統一した案が良い。
- ・土壌の厚さが70cmというのはソメイヨシノにとっては厳しすぎる環境なのかなとは感じている。
- ・一部分だけでもいろいろな品種を植えてみてはどうか。それにより多くの品種があることを知ることができ、見る人の意識が変わると思う。
- ・緑道を全体として連続的に見るには統一性があるほうが美しい。周辺の公園や小学校なども含めていろいろな花を楽しめるようにすれば良いのではないかな。
- ・土壌改良などによる樹勢回復や歩行者への配慮なども考えていってほしい。

樹木診断の結果や検討会でのご意見をもとに、平成31年3月頃までに立会川緑道サクラ再生計画を作成します。平成31年3月に「平成30年度サクラ保全事業報告会」を開催する予定です。ぜひご参加ください。

○問合せ先 目黒区 みどりと公園課 03-5722-9745